

学級で共有できる「情報シート」の活用

— 総合的な学習の時間において、資料を活用する力の育成を目指して —
 情報教育・ICT活用班 小暮育秀（小学校教諭）

主題設定の理由

〈児童の実態〉

- 体験活動に意欲的
- ▲ 資料を探し出す。
- ▲ 資料を読み取る。

〈身に付けさせたい力〉

必要な資料を検索する力
手だて1
 情報シートの活用

〈身に付けさせたい力〉

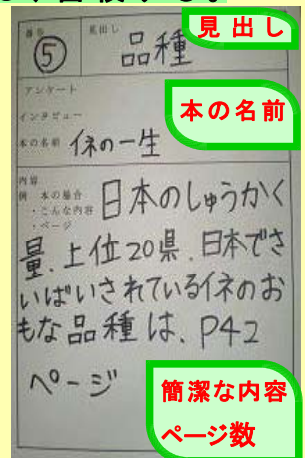
資料を活用していく力
手だて2
 個別支援

授業実践 5年総合的な学習の時間「知らせよう！私たちの米作り」

① 米作りに関するウェビング



③ 情報シートをデジタル化し、蓄積する。



② 課題設定

③ へ

④ 資料検索

複数の情報の中から、必要な資料を選べる。

⑤ 資料活用

・全員が資料検索できた。
 選んだ資料を比較できたり、関連する資料を結び付けたりして考えられる。

- ・共通点や相違点について考えられた。
- ・一つの資料だけでは分からなかったことが分かった。
- ・関連する他の内容を見付けられた。

資料をもとにして、自分なりの考えをまとめられる。

〈成果〉

- 米作りに関するウェビングの項目と見出しをもとにして、学級で共有できる「情報シート」を作成したことは、課題解決に向けて必要な資料を検索するのに有効であった。
- 「情報シート」を使って、複数の資料を検索することで内容を比較したり、関連付けたりできるようになった。

〈課題〉

○ インターネット上の資料やインタビューした資料についても「情報シート」にまとめ、蓄積していくことも必要である。

